

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年06月16日

計画の名称	こもの水を未来へ（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	菟野町												
計画の目標	菟野町は、美しくそして峻嶒な鈴鹿山脈を源とする多数の河川が流れ、その清流が生み出す水辺環境は、人々に潤いと安らぎを与えてくれている。 ところが近年、都市化の進展や生活様式の変化に伴い、河川等の水質汚濁が進んでいる。 こうした状況のなか、公共下水道を整備し、下水道処理人口普及率を向上させることにより、快適で衛生的な生活環境の向上と公共用水域の水質安全を図るとともに、 町民が安らぎ、自然とふれあうことのできる水辺環境の再生を通じて地域の活性化を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,900	A	3,900	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	下水道施設の整備の促進（下水道処理人口普及率を65%から74%に向上） 下水道処理人口普及率（%） 処理区域内人口 ÷ 総人口（住民基本台帳人口） × 100	65%	69%	74%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	菰野町	直接	菰野町	管渠(汚水)	新設	北部第4処理分区(未普及解消)	污水管 150~300mm L=236m	菰野町						107	-	
	A07-002	下水道	一般	菰野町	直接	菰野町	管渠(汚水)	新設	北部第6処理分区(未普及解消)	污水管 150~250mm L=2,310m	菰野町						448	-	
	A07-003	下水道	一般	菰野町	直接	菰野町	管渠(汚水)	新設	北部第7処理分区(未普及解消)	舗装復旧 A=8,210m <sup>2</sup>	菰野町						48	-	
	A07-004	下水道	一般	菰野町	直接	菰野町	管渠(汚水)	新設	北部第8処理分区(未普及解消)	污水管渠 75~450mm L=21,520m	菰野町						3,229	-	
	A07-005	下水道	一般	菰野町	直接	菰野町	管渠(汚水)	新設	南部第2処理分区(未普及解消)	污水管渠 75~150mm L=100m	菰野町						18	-	
	A07-006	下水道	一般	菰野町	直接	菰野町	管渠(汚水)	新設	南部第3処理分区(未普及解消)	污水管渠 150mm L=1,220m	菰野町						47	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	菰野町	直接	菰野町	管渠(汚水)	新設	北部第7処理分区(未普及解消)	汚水管 150mm L=30m	菰野町						3	-	
											小計						3,900		
											合計						3,900		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 上下水道課にて実施	事後評価の実施時期 令和5年度
	公表の方法 菰野町ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	公共下水道の整備に伴い、下水道処理人口普及率を65.8%(H30)から73.3%(R4)に向上させることができた。 下水道処理人口普及率が向上することにより、快適で衛生的な生活環境の改善に繋がり、水辺環境の再生が図れた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和8年度概成を目標として公共下水道の整備を促進し、快適で衛生的な生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率の増加	
	最終目標値	74%
	最終実績値	73%
		資材や人件費の価格上昇に伴い、予定通りの整備に至らなかった。